



手信号を行い左折する前田茉莉さん

町総合体育館で7月7日、第46回交通安全子ども自転車熊本県大会が行われ、県内23校、92人の小学生たちが自転車の正しい乗り方を競い合いました。本町からは、6月16日、御船地区大会で優勝した益城中央小が出場しました。出場したのは前田茉莉さん(6年)、奥田怜君(同)、松嶋俊樹君(5年)、渡邊颯君(同)の4人。メインアリーナに設置された道路上で、「前方よし、後方よし」と館内に響きわたる声で周囲確認を行い、慎重かつ、ていねいに自転車を運転しました。大会は学科テストから始まり、2種目の実技テスト(安全走行、技能走行)で順位を競いました。地区代表の益城中央小は、全23チーム中、8位を獲得しました。

前方よし！ 後方よし！
交通安全子ども自転車熊本県大会

花を育て、やさしい心に

益城中央小で児童と民児協が花植え

益城中央小学校(廣瀬誠一郎校長)で6月18日、同校2年生66人と木山校区民生委員・児童委員協議会(松野壽生会長)の6人が花植え作業を行いました。

この日植えた花は、サルビア240株とマリーゴールド70株。苗は同校区民生委員の梅田隆義さん(辻団地)が自宅ですて提供しました。

教室南側の花壇に集まった子どもたちは、会員のみなさんと一緒に土に穴を掘った後、苗をポットから取り出し、1株1株丁寧に植え付けていました。苗を提供した梅田さんは、「花を育てることで、命を大切にするやさしい心も育ててほしい」と話していました。



丁寧に花を植え付ける子どもたち



化石の型に石膏を流し込む作業

個性的な“化石”が誕生

親子で化石のレプリカを作成

御船町カルチャーセンターで6月16日、上益城郡子ども育成会育成者・指導者研修会が開催され、上益城郡内から62人(益城町から親子5組15人)の参加がありました。

参加者は、御船町恐竜博物館(=博物館)の永田紘樹先生の指導で、「化石レプリカ作り」を体験。本物の化石の型に石膏を流し込んで固まったものに、参加者は思い思いの色で着色し、個性的な化石レプリカが誕生しました。

研修会後、博物館で恐竜の骨格展示や御船町で発掘された恐竜の化石を見学。参加者は、自分で作ったレプリカと本物の化石を見比べて楽しみました。